

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 01 資源循環型社会の形成

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	ごみ総排出量 (t)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【環境課】	24,805	25,957	25,568	23,500
評価	前年度に比べ、実績値が389t減少した。コロナ禍により自宅で過ごす機会が増えたことが影響し、家庭系ごみは2.3%増加したが、飲食店などから出る事業系ごみは7.5%減少している。資源ごみはペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電の回収量が増加し、分別意識の高まりが見受けられるが、古紙類の回収量が大きく目減りし、全体としては6.0%減少した。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 発生抑制の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市民一人一日あたりのごみ総量 (g) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		820	853	837	777	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値が16g減少した。コロナ禍により自宅で過ごす機会が増えたことが影響し、家庭系ごみは2.3%増加したが、飲食店などから出る事業系ごみは7.5%減少している。資源ごみはペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電の回収量が増加し、分別意識の高まりが見受けられるが、古紙類の回収量が大きく目減りし、全体としては6.0%減少した。					対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 (---)

基本事業01 発生抑制の推進

指標	発生抑制 (リデュース) に取り組んでいる市民の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		93.2	94.5	-	94	(比較不可)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度 (比較不可) 目標達成度 (---)

基本事業02 資源化の推進

指標	資源化率 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		27.5	26.3	24.7	32	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値が1.6ポイント減少した。これは、資源化される古紙のうち新聞及び雑誌の回収量が大幅に減ったことが要因である。なお、かん、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電、古着類は前年よりも回収量が増加しており、市民の分別意識は高まっている。					対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 (---)

基本事業02 資源化の推進

指標	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		23.6	22.9	-	23.1	(比較不可)
評価	R2は感染症拡大予防の観点から、燃えるごみの組成調査が実施できなかったため、数値未取得					対前年度 (比較不可) 目標達成度 (---)

基本事業03 再使用の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	リサイクル広場におけるリユース件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	568	530	310	400	☂ (低下)
評価	前年度の実績を220件下回っており、令和5年度の目標値よりも80件下回っている。新型コロナウイルス感染症対策のため4月1日から6月21日までリユース品の受け取りを行っていなかったこと、また、リサイクル広場移転準備のため11月20日以降はリユース品の受け取りを断っていたことが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 再使用の推進

指標	再使用している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	40.2	40.1	-	42	(比較不可)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 ごみ収集処理体制の整備

指標	ごみ残置シール貼付数（枚）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	2,895	4,439	3,637	2,800	☂ (低下)
評価	（状況）前年度から802件減っているが、目標値2800件を上回っている。 （原因）不燃ごみの収集で、発火の危険のあるリチウムイオン電池の回収を不可としたことで、その分貼り付け枚数が増えている要因であるが、枚数全体が前年度より減ったのは、適正排出に向けてはよい傾向である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 ごみ収集処理体制の整備

指標	ごみ収集に関する不具合・事故件数（件数）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	10	4	4	9	☀ (向上)
評価	（状況）前年度と、同じ件数であり、後期目標値の9件は下回っている。 （原因）朝礼時に、清掃職員内で注意事項の喚起を行うなど、常に安全で事故のない収集作業に努めてきた結果といえる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)